

たのバリスト断固支持！！

全学の学生諸君！とりわけ教養部生諸君！
先日12月6日教養部実行委員会（バリスト）のライ
キが、全学中央斗争委員のもとで開かれた。我々
C代大実はこの闘いを断固支持する。

金大中氏に対する最終審の死刑判決は、5
日にこそ出されなかったが、全斗煥は屈辱の
闘いの動向を窺って、日帯・鈴木、米帯・レ
ーナンとの調整のもと、いつまでも死刑判決を
下し、即執行しようとしていることを忘れて
はならない。

5日には、緊急行動案の提起のもと、50
0人結集という文字通り大衆的な集会が行
なわれ、6日には、実力斗争としてバリスト
が中央斗争委によって行なわれた。その地帯
を堅持し、権力との緊張関係を維持させ、こ
うに死刑阻止の闘いを前進させていくことは
ないか。

バリストの意義は、オチに金大中死刑阻止
の闘いが、当局・権力との実力対決として現
れたことにある。死刑阻止、日韓連帯の闘い
を、お膳の運動や、「韓国政府に圧力をかけ
させる運動」におとしこめ、敵の收拾策動に
屈服している部分もある中で、バリストを各
々断固とした闘いを、日米帯、全斗煥を一つな
く黒い糸に対して行なっていくなければならない
。

オチに、このバリストは、教養部生まで
に対する問題提起として現れたのだ。何者か
が指図をなすだけなら、金大中は、殺すに
するのめ、傍観するのみで済ませたいと自ら考
え行動していくのなうさうしたことな一人一
人に問われていることを忘れてはならない。

5日・6日と我々C代大実隊、ワラスに入
り、「控室をボイコットし、ワラス討論をや
ろう」と呼びかけてきた。いくつものワラス
で実際にワラス討ち行なわれ、あるワラスで
は、自分達で署名を作り、それを他のワラスに
呼びかけるなどの行動も見られた。全ての諸
君の勇に多くのワラスでワラス討ちを行ない、具
体的行動に参加していくことではないか？

最終審の判決が出たなら、6日以上の強
かな行動が必要となってくる。多くの諸君がそ
れに参加されよう訴える。

今回のC代大は、5日・6日の闘いをステ
ップとし、より大衆的より強力に死刑阻止の
闘いを組むための行なわれるのだ。代大協議
会C長期ストを闘っていくことではないか？全
ての諸君が、全てのワラスで討論し、具体的
に何ができるかを考え、行動し、それをC代
大へ結集させていくこと、死刑阻止を更に全カ
で闘っていくこと。

本日12・8・(月) 多くの教養生の参加を求めます

才一回運営委員会

署名確認、開催決定、開催期日について

4じ A7ZZ